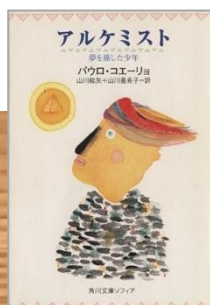
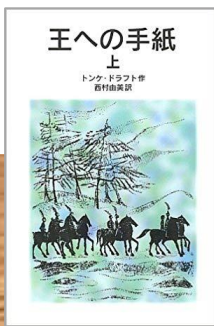


みどりの翼

特集 冒険小説

おとなになっても大好きです。
夢や危険がいっぱい詰まった物語。

2020年4月 Vol. 70



なのビー



発行：田原市中央図書館
(TEL：0531-23-4946)

☆新着図書・この本読んで！☆

短時間でよめる ふしぎばなし

「グレーテルの白い小鳥」

斉藤洋／著 偕成社 2020年 913/リ リーズ



市立図書館で「児童読書相談コーナー」のアルバイトをしている私のところには、なぜかふしぎな話が集まってくる。

菓子箱からあらわれて男の子の友達になったマダガスカルヘビの話。老齢のタクシー運転手のがせたふしぎなお客の話。看護師が体験したヒヤリとする病院の怪談話など、5つの短編が収録されている。

ビブリオ・ファンタジアシリーズの第3弾。

図書館もたくさん活用してねー！！

「13歳からの「身になる読書術」

大居雄一／著 メイツユニバーサルコンテンツ 2019年 019.12/オ リーズ



新年度になったし、新しいことはじめたい！そうだ、読書しよう…！と思ったものの、どんな本を読んでいいのかわからない。自分に合った本がわからない…そんなお悩みをもつあなたにオススメ。現役の中学校教員が、「本の探し方・読み方」をやさしく教えてくださいます。

どの本もおもしろそうで全部読みたくなっちゃいます♪

あなたの悩みもここにある

「放課後の文章教室」

小手鞠るい／著 偕成社 2019年 816/リ リーズ



こうやって本の紹介をしているけれど、どんな書き方が正解なのかっていまだによく分からない。だって作文苦手なんだから…。同じような悩みを抱えるあなたにもオススメの、現役作家さんによる文章の書き方ハウツー本。

「悪口はかかない」「体験をもとにして書く」…などなど Twitter や読書感想文などにも使える、身近な文章の書き方を教えてくださいます。

予告：次号の特集は「グルメ」です。お楽しみに♪

剣と弓と馬。ときどき読みたくなる、昔ながらの冒険物語

「王への手紙 上・下」

トンケ・ドラフト／著 岩波書店 2005年 949/ト 児童



決して外へ出ず、朝まで誰とも口を利かなければ、明日には騎士に叙任されるという夜、騎士候補のティウリは窓の外に助けを求める声を聞く。掟に背くことと知りながら外へ出たティウリは、敵のだまし討ちにあい傷を負った隣国の騎士に出会う。騎士の最期を看取り、その遺志を継いだティウリは、命懸けの任務に旅立つ。窮地に立たされる度、賢く勇敢に立ち向かうティウリに胸熱です。徹夜で読みきりました。

極限状態を生き抜け！

「世界のはての少年」

ジェラルディン・マコックラン／著 東京創元社 2019年 933.7/マコ ヱィーンズ



草木も生えない岩の孤島、それが「戦士の岩」だ。9人の少年と3人の大人たちは生活の糧となる海鳥を捕るため戦士の岩に上陸した。過酷な暮らしは3週間で終わるはずだった。いっこうに迎えの舟が現れず、閉ざされた島での先の見えない暮らしに、仲間の体と心がむしばまれていく。年長の少年クイリアムは皆を励まそうとするが…。

スコットランドで実際にあった事を元にした話。

上下巻、かなりのボリューム！でも読みだしたら止まらない

「上と外 上・下」

恩田陸／著 幻冬舎 2007年 913.6/ガ ヱィーンズ



離婚して離れ離れになった母と妹・千華子とともに、考古学者の父に会うために中米G国にやってきた中学生の練。気まぐれな空気が流れる中、4人はヘリコプターに乗りジャングルに囲まれた遺跡を目指す。しかし突然のクーデターに巻き込まれ練と千華子の兄妹2人だけがヘリから落ちてしまう。救助の手が届かない密林の中2人の行く末はどうなってしまうのか。

「ほんとうの幸福」とは何か

「銀河鉄道の夜」

宮沢賢治／著 角川書店 1987年 913/㍲ ﾀｰﾝｽﾞ



主人公のジョバンニは、友人であるカムパネルラとともに銀河をめぐる不思議な汽車で旅をする。

銀河鉄道に乗車した人々はどこへ向かうのか。なんとなく予想しながら読み進めると、悲しくなってくる。道中の幻想的な風景は、これから天上へ向かう人々が少しでも明るい気持ちになれるように、という祈りの旅路なのかもしれない。

店主と従業員。二人だけの、小さな宝石店。

「宝石吐きのおんなのこ」

なみあと／著 ポニーキャニオン 2015年 913.6/㍲ ﾀｰﾝｽﾞ



「スプートニク宝石店」の従業員クリューは「宝石を吐き出す」不思議な体質の持ち主。その体質のせいで、ゴロツキや魔法少女に狙われてしまう。敵からクリューを守るため、店主スプートニクはどう立ち向かうのかが見どころ。周囲の人々に見守られながら、仕事を一生懸命こなすクリューはとても微笑ましい。このまま平穏な日常が続けばいいのだが…。

この経験は、決して無駄ではないのだ…。

「アルケミスト」

パウロ・コエーリョ／著 角川書店 2002年 969.3/II/ ﾀｰﾝｽﾞ



羊飼いの少年サンチャゴは不思議な夢を見た。エジプトにあるピラミッドに行けば、隠された宝物を発見できるという夢を…。サンチャゴはピラミッドを目指して旅に出る。

様々な人と出会い、「前兆」にしたがい行動し、いろんな経験をしてサンチャゴは成長する。そして自分の夢を持ち続けることの大切さを学ぶ。その先で彼が見つけたモノとは…。 ぜひ、彼と一緒に宝物を見つけてみてください。

中央図書館では、その他のオススメ本も展示しているので見に来てね☆